

“坂とクレセント”

作詞：さいとうつよし 作曲編曲：松浦一典

心臓やぶり！！
ドキドキの坂道なの
ラストスパート！
キミに追いつけるかな??

1.
走り出せば、はずむ息をきらせ
体育座りのまるい甲羅に
萌え要素さがすキミ・・・

ホントナニコレ?!抑えきれない疑問!
走るとき何故か、いつも登りなの!
これガチでイジメよね!!!

こんなに長い坂道でさえ、
なんてこともない顔で走る
追いつけなくてもいいけど、でも・・・
泳ぎなら負けないのに・・・

心臓破り!!!
伝説の坂道なの
とどかない想い
波紋みたいに遠ざかる

星にささやく
ムラサキの花の色・・・

ゆらりゆらめく、
黒い川の波にゆれる
クレセント

2.
春と夏の間だけに光る
命の前の水のざわめき
パラパラ葦が揺れる・・・

体育座りの寂しい背に萌える
涼しい顔に、セミの抜け殻
夕陽が妙に似合う・・・

話し出すとどこまでも続く蘊蓄の洪水、
もうたくさん!!
そんなこといいからわたしを見て!
お皿がかわくまで・・・

心臓破り!!!
伝説の坂道なの
淡い微笑み・・・
雲の向こうに消えるの

風に答える
私の想いを・・・

青く輝く、
胸に甘く突き刺さる
クレセント